

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1 電話：03-3541-5151

聖路加国際病院 乳腺外科 南村 真紀

【研究責任者】

聖路加国際病院 乳腺外科 南村 真紀

乳がん術前化学療法後の腋窩リンパ節転移消失の有無の予測 に関する研究

1.研究の対象

2006年1月から2016年12月までに当院で乳がん及び腋窩リンパ節転移を認め、術前化学療法を施行された方

2.研究の目的・方法

現在、腋窩リンパ節転移陽性と判断された乳癌患者さんに対し術前化学療法を施行すると、30%以上の方が腋窩リンパ節転移陰性になると報告されています。しかしながら、どのような特徴の腫瘍が腋窩リンパ節転移陰性となるかはわかっていません。そこで私たちは、術前化学療法後に腋窩リンパ節転移が消失した腫瘍の特徴を検討することを計画しました。

2006年1月から2016年12月までに腋窩リンパ節転移を認め、術前化学療法を施行された方の術前超音波での所見と手術で切除した腋窩リンパ節における転移消失の有無、および、腫瘍の特徴を比較する研究です。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2018年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 乳癌の特徴（ホルモン陽性または陰性、HER2陽性または陰性など）、抗がん剤治療の治療歴、病理結果、乳房超音波などの画像評価等